

# 救難捜索機 (U-125A) (空幕)



## 搜索レーダーや援助物資投下機構などの装備で遭難者を救援します

U-125A は、救難捜索機 MU-2 の後継機と位置づけられています。MU-2 に比べ、性能、能力ともに一段と向上しました。搜索レーダー、赤外線暗視装置の装備による搜索能力の向上、さらに援助物資投下機構を装備したことによって、遭難者に対する延命も含めた援助能力が向上したことが特徴です。近年は、作戦機の行動範囲が広がっており、それに対応した救難能力の強化を図ることができます。初号機は平成7年、航空自衛隊に納入されました。

主要スペック	分類	救難捜索機
乗員	4人	
全幅	15.66 m	
全長	15.60m	
全高	5.36m	
自重	18,000lbs	
最大離陸重量	26,866 lbs	

エンジン	搭載数	2基
	名称	TFE 731-5R-1H
	推力	1.950kg/基
	型式	ターボファン・エンジン
性能	最大速度	442ktt (約 820km/h)
	航続距離	約 2,200nm (約 4,000kmt)

金額：1機 62 億円 (平成 20 年度受注)

製作：ギャレット社 (米国)

輸入商社：兼松株式会社